



変わらぬ味を守り続ける

～株式会社花善～ 大館市



八代目社長の八木橋氏

大館市にある株式会社花善（代表者・八木橋秀一氏）は、弁当の製造・販売・配達と食堂の運営を手掛けている。

●大館駅の開業を機に創業

同社のルーツである「花岡旅館」は、明治32年、大館駅の開業を機に駅構内で弁当の販売を始めた。昭和21年に「花岡商店」として弁当部門を独立し、25年の株式会社化、32年の食堂部門設立を経て、51年に社名を現行の「株式会社花善」に変更している。現代表の八木橋秀一氏は、平成24年に八代目として事業を引き継いだ。

●販売方法の転換により新たな需要開拓

同社は、弁当販売が売上高の9割以上を占めており、平成28年度の販売弁当数は約60万個、本年度は65万個を突破する見込みである。

かつての販売方法は、駅構内でホームにいる販売員が列車の停車中に窓越しに販売する方法、

【会社概要】

- 1 代表取締役 八木橋 秀一
- 2 所在地 大館市御成町1丁目10番2号
- 3 事業内容 弁当製造販売配達、食堂営業
- 4 創業 明治32年11月
- 5 資本金 3,762万円
- 6 従業員 45名
- 7 売上高 483百万円（平成29年2月期）
- 8 TEL 0186-43-0870
- 9 FAX 0186-43-0888
- 10 URL <http://www.hanazen.co.jp/>

通称「立ち売り」が主流であったが、安全のため窓の開閉ができない車両が増えたこと、列車の高速化にともない停車時間の短縮が進んだことなどから、売上は昭和50年頃をピークに減少に転じた。昭和20年代に始めた車内販売も、コンビニエンスストアやスーパーの増加にともない安価な弁当との競合が生じた影響から売上が伸び悩んだため、同社は、平成9年に立ち売りを、11年に車内販売を廃止した。

その後、百貨店とスーパーに販路を広げたほか、新たにツアーバスへの積み込み（※）を開始したところ利便性の高さが評価され販路が拡大し、現在は、県内の角館以北の地域と青森県の日本海側の地域で積み込みを行っている。また、近年は首都圏などの百貨店で行われる物産展や駅弁販売イベントでの実演販売にも出展し



ており、イベントでの弁当販売数は、28年度は約4万個と、5年前と比較し約10倍に伸びた。

販路拡大に取り組んだ結果、同年度の販売弁当数における販売方法別割合をみると、本県と青森県、岩手県、宮城県、埼玉県、東京都の6都県にある駅構内の売店と百貨店・スーパーでの販売が6割強、バス旅行への積み込みが3割弱、実演販売と工場に併設する売店での販売が残り1割である。

(※) 積み込みとは、乗客が車内や目的地で手軽に食事をとれるよう、弁当をバスに積み入れることを言う。

●変わらぬ味を守り続けて

看板商品「^{とり}鶏めし」は、昭和22年の発売以来70年も人気を集めるロングセラー商品である。ご飯の上に鶏肉を載せる形式は、戦時中の従業員への^{まかな}賄い料理をヒントに考案した。レシピの原型は、戦後まもなく、配給された「米、ゴボウ、砂糖、醤油」をまとめて炊いたことから誕生したもので、今もなお発売当時の製法を守り続けている。また、発売当初から、大館市の要請を受け、市の伝統的工芸品「大館^{ひつ}曲げわっぱ」のお櫃を使用している（現在は、食堂のメニューでのみ使用）。

リピーターも多く、JR東日本が扱う駅弁人気No.1を選ぶイベント「駅弁味の陣」で、平成27年に「鶏めし弁当」が、28年に「比内地鶏の鶏めし」が、2年連続で最高賞に当たる「駅弁

大將軍」を受賞した。28年には、世界的な食品コンクール「モンドセレクション」で「から揚げ鶏めし」が業界初となる銀賞を受賞した。

●新社屋建設により弁当の製造能力増強

本年4月に完成した新社屋には、工場、食堂、売店に加え、製造ラインの見学スペース、同社の歩みを紹介するギャラリーを設置している。

工場では、機械設備の導入により、弁当の製造能力をこれまでの1日最大3,500個から5,000個に拡大したほか、新たに衛生検査設備も設け、衛生管理を強化した。

また、食堂については、顔の見える接客が可能となるよう席数を以前の4分の1程度である46席に抑え、「大館市」と「鶏」をキーワードに地元食材を使用した料理を提供している。

●秋田の味を世界へ発信

同社は、地元での認知度をより一層高めるため、平成25年度から年に一度、市内の全小・中学校の給食に「鶏めし」を提供している。

また、30年11月には、国際交流基金が中心となり、日仏友好160周年を記念し開催する大型日本文化紹介企画「ジャポニスム2018」の一環として、パリ市内のリヨン駅で1か月間弁当を販売する計画である。八木橋代表は、「地元の方々、本県を訪れる旅行者の方々に育ててもらった『鶏めし』の魅力の世界に発信したい」と、ますますの成長に向け意欲を語っている。

(相沢 陽子)

八木橋社長からのひと言

全国で唯一、秋田杉の間伐材から作成した割り箸を使用している弁当製造業者です。